

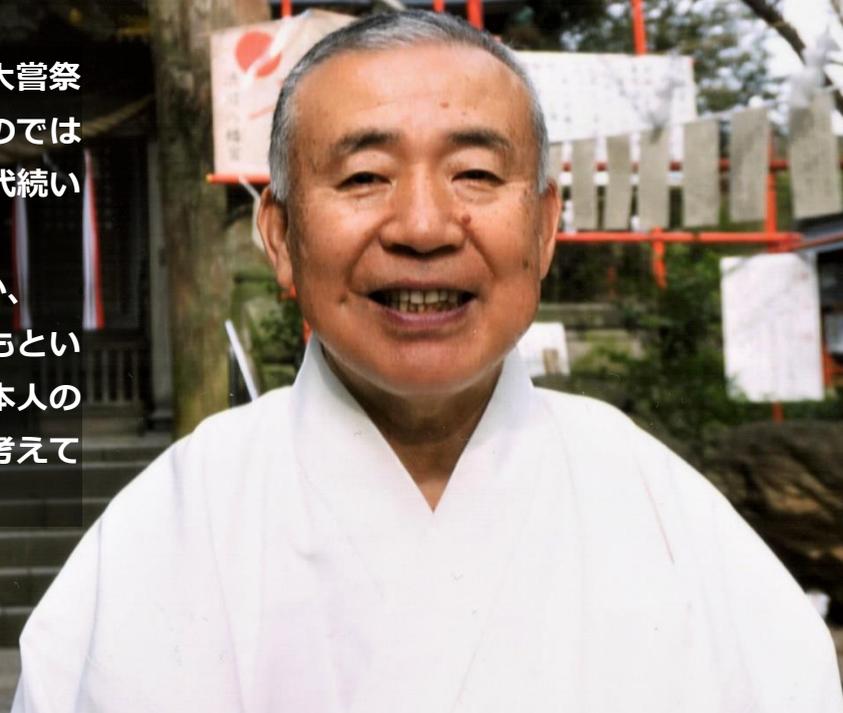
第2回 小野善一郎先生講演会

本来の日本人のこころ

新しい御代となり、皇位継承や大嘗祭など初めて知ったことが多かったのではないのでしょうか。天皇陛下が126代続いているのは世界で日本だけです。

なぜこんなに長く続いているのか、祓(はらえ)の観点から古事記をひもといて下さる小野先生と共に本来の日本人のこころとは何かを共に学び、共に考えてみませんか。

(渋川八幡神社境内にて撮影)



日時 令和2年8月8日(土)

スケジュール

- 12:00-12:30 受付
- 12:30-13:00 正式参拝
- 13:00-13:50 境内案内
- 14:00-14:30 湊川神社宮司講話
- 14:30-16:30 小野善一郎先生講演会
- 17:30-18:30 直会(軽食付)

会場 楠公会館(湊川神社内)

〒650-0015

神戸市中央区多聞通3丁目1-1

TEL 078-371-0005

最寄り駅：阪急・阪神電車「高速神戸」すぐ山側
JR 神戸駅より北へ徒歩3分
市営地下鉄大倉山より南へ徒歩5分

受講料 5,500円(※正式参拝・軽食含む)
(※事前申込制、裏面へ)

■小野善一郎先生■

福島県生まれ。

國學院大学院文学研究科神道学専攻博士課程後期終了。

國學院大学・東洋大学講師。博士(神道学)。

湯島天満宮権禰宜を経て、

令和2年1月1日より群馬県渋川八幡神社禰宜となる。

神社本庁の外郭団体である日本文化興隆財団ほか多くの講座やセミナー等で古事記、神道関連講座の講師を務める。

湊川神社(通称 ^{なんこう}楠公さん)について

今から約680年前、後醍醐天皇が幾多の苦難を経て国家中興に力を尽くされました。

その実現に私利私欲なき精神で最も尽くされたのが、楠木正成公です。

明治天皇は大楠公の忠義を

後世に伝えるため明治5年に

創建されました。その至誠の

楠公精神は幕末の志士達や

多くの英霊たちに受け

継がれています。



申込方法

①氏名、②メールアドレス、③当日連絡のつく電話番号、④参加人数を明記の上、下記のメールアドレス、又は FAX にてお申込み下さい。振込み先等のご案内を追って連絡いたします。

FAX : 078-771-9005

メールアドレス : imakojiki@gmail.com

連絡先 : 今別府 香織 090-9122-1596

今は文明の大転換点です。

かつてラフカディオ・ハーン(小泉八雲)は、やがて西洋の近代文明が行き詰まりを示す時にそれを救うものは、日本人の先祖の「いのち」とともに生きているという信仰である、と予言しました。まさに今、新型コロナウイルス感染症拡大の問題に象徴されるように、近代文明社会の限界が露呈し、その超克が求められています。

「糸が絡んだら、原点に戻ると混乱し絡まった糸はほどけていく」と言われています。近代主義の大本にあるのは、自我の確立です。その近代主義の相對峙して見る自我を制御し、私たちを生かしてくれている本源の「いのち」(天照大御神)への回帰。すなわち、軸足を自我の奥に置くという本来の日本人の「ころ」が求められているのではないのでしょうか。

私たちは初めから、無条件の「いのち」に包まれて生きています。無条件ですからとても温かい心です。しかし、自我の相對峙した心で見るとその繋がりは断ち切れられ、冷酷になります。いくら科学的に進歩しても、この冷たい心は天地に無い心ですから、必ず滅びます。

滅びない「いのち」と一つになるのです。これが靈魂不滅の信仰です。

日本人であるならば、本来の日本人であるならば、私たちの肉体は死によって消えてしましますが、靈魂(いのち)は決して滅びるものでなく、この世に留まっていつまでも子孫の幸福を見守っていると考えることは、極めて自然であり当然のことです。

何よりも私たちの心の中に宿っている「いのち」(天照大御神)を大切にし、我欲によって晦まさないよう、常に努力しなければならぬと考えることが、古くからの日本人の素直な心です。

楠木正成公は、「仮にも君を怒み奉るの心おこらば、天照大御神の御名を唱ふべし」と述べています。窮地に立った時すぎるものは、私たちの「いのち」の根源である天照大御神であります。

未来を変えるのは、私たちの心を変えることです。

小野善一郎 拝

その他講演会情報、

本のご案内などはこちらを検索

古事記のこころドットネット

